

網使用料算定根拠

県内NGN

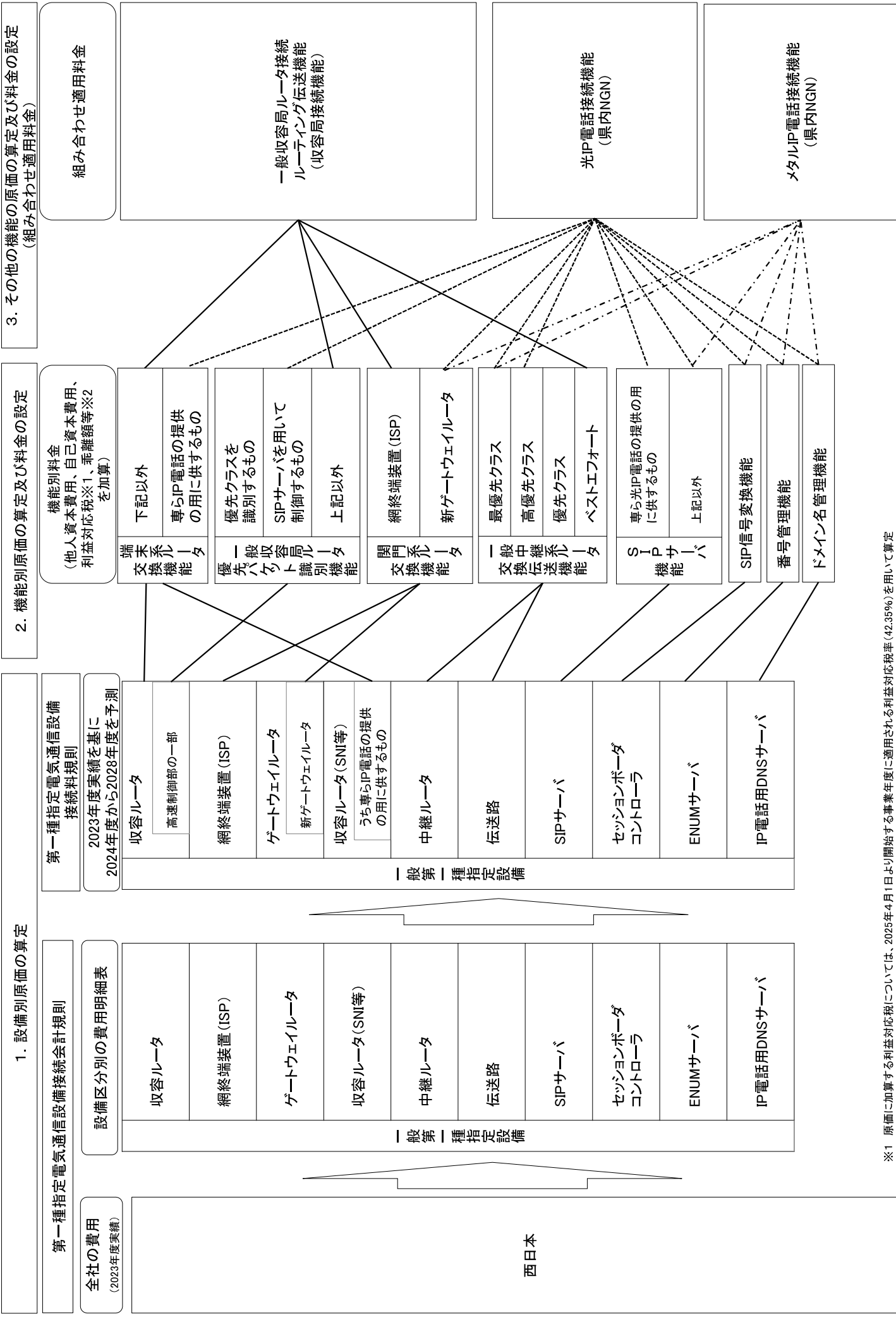
<西日本>

目 次

I.算定手順	2
II.原価の算定及び料金の設定	
1. 設備別原価の算定	3
2. 機能別原価の算定及び料金の設定	8
3. 前期料金適用期間における乖離額の算定	39
4. その他の乖離額等の算定	41
5. その他の機能の原価の算定及び料金の設定	42
III.投資等比率及び貯蔵品比率の算定	44
IV.接続料収納までの平均的な日数の算定	45
V.資本構成比率の算定	46
VI.他人資本利子率の算定	47
VII.自己資本利益率の算定	48
VIII.利益対応税率の算定	49
IX.料金設定に用いた設備数及びトラヒック	51
X.料金設定に使用する貸倒率	52
(別紙)	
1. コストの分計に用いた契約数比等	53
2. コストの分計に用いた取得資産価額比等	53
3. コストの分計に用いたトラヒック比等	53
4. コストの分計に用いたトラヒック比等	53
5. QoS制御係数算出の考え方	54
6. QoS制御係数の算出	55
7. 帯域制御係数の設定	56
(別添)	
1. 收容ルータの設備管理運営費	57
2. 收容ルータの固定資産	58
3. 中継ルータの設備管理運営費	59
4. 中継ルータの固定資産	60
5. SIPサーバの設備管理運営費	61
6. SIPサーバの固定資産	62
7. ゲートウェイルータの設備管理運営費	63
8. ゲートウェイルータの固定資産	64
9. 收容ルータ(SNI等)の設備管理運営費	65
10. 收容ルータ(SNI等)の固定資産	66
11. 網終端装置(ISP)の設備管理運営費	67
12. 網終端装置(ISP)の固定資産	68
13. 伝送路の設備管理運営費	69
14. 伝送路の固定資産	70
15. セッションボーダコントローラの設備管理運営費	71
16. セッションボーダコントローラの固定資産	72
17. ENUMサーバの設備管理運営費	73
18. ENUMサーバの固定資産	74
19. IP電話用DNSサーバの設備管理運営費	75
20. IP電話用DNSサーバの固定資産	76
(参考)	
1. 設備区分別費用明細表	77
2. 設備区分別固定資産明細表	80
3. 設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備等の内訳)	82
4. 設備区分別固定資産明細表(一般第一種指定設備等の内訳)	83
5. 設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)	84
6. 設備区分別固定資産明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)	85

I. 算定手順

・第一種指定電気通信設備接続料規則第8条2項2号に基づき、2024年度から2028年度の原価を予測し接続料を算定



※1 原価に加算する利益対応税については、2025年4月1日より開始する事業年度に適用される利益対応税率(42.35%)を用いて算定
乖離額算定時の原価については、2023年4月1日より開始する事業年度に適用される利益対応税率(42.35%)を用いて算定

※2 一般收容局ルータ優先ハケット識別機能(優先クラスを識別するもの)、一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラスを識別するもの)を除く機能については、組合せ適用接続機能の原価に加算し算定

II.原価の算定及び料金の設定

1. 設備別原価の算定

1-1. 2024年度設備別原価

(単位:百万円)

区分	収容ルータ			中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ		新ゲートウェイルータ (再掲)	収容ルータ(SNI等)	SNIルータ(再掲) (IP電話)	網終端装置(ISP)	伝送路		セッションボードコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
	収容ルータ	収容ルータ(1Gbps)	収容ルータ(10Gbps)			ダークファイバ以外	ダークファイバ										
①設備管理運営費	22,062	20,024	2,038	898	8,930	43	8	585	230	10,501	9,092	8,375	717	161	227	54	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	51	44	7	2	26	0	0	1	1	20	61	54	7	0	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	1,132	979	152	48	564	2	1	33	15	437	1,337	1,182	155	10	14	3	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利率
④利益対応税	485	419	65	21	242	1	0	14	6	187	573	506	66	4	6	1	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	23,730	21,466	2,262	969	9,762	46	9	633	252	11,145	11,063	10,117	945	175	248	58	①+②+③+④

⑥正味固定資産	35,022	30,191	4,831	1,503	17,729	74	18	1,028	459	13,295	43,406	38,346	5,060	304	426	107	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	182	157	25	8	92	0	0	5	2	69	226	199	26	2	2	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	483	417	67	21	245	1	0	14	6	183	599	529	70	4	6	1	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	2,224	2,048	176	79	843	4	1	57	21	1,088	554	520	34	13	19	5	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	37,911	32,813	5,099	1,611	18,909	79	19	1,104	488	14,635	44,785	39,594	5,190	323	453	114	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	6,289	5,444	846	267	3,137	13	3	183	81	2,428	7,430	6,568	861	54	75	19	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	429	397	32	14	222	1	0	11	4	187	580	374	206	1	1	0	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	3,816	3,217	599	255	1,957	10	2	121	60	1,603	4,069	3,836	233	53	75	18	
⑭固定資産除却損	28	28	0	0	8	0	0	0	0	6	12	9	3	0	0	0	

区分	収容ルータ			中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ		収容ルータ(SNI等)		網終端装置(IISP)	伝送路		セッションボードコントローラ	ENUMサーバ	I P 電話用DNSサーバ	備考	
	収容ルータ	収容ルータ(1Gbps)	収容ルータ(10Gbps)			新ゲートウェイルータ(再掲)	収容ルータ(SNI等)	SNIルータ(再掲)(I P 電話)	ダークファイバ以外		ダークファイバ						
①設備管理運営費	22,736	18,722	4,014	973	11,799	8	8	569	225	8,684	8,975	8,244	731	174	243	57	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	53	41	12	2	38	0	0	1	1	15	59	52	7	0	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	1,219	940	279	53	856	1	1	32	14	348	1,338	1,174	164	11	15	4	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利率
④利益対応税	522	403	119	23	367	0	0	14	6	149	573	503	70	5	6	2	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	24,530	20,106	4,424	1,051	13,060	9	9	616	246	9,196	10,945	9,973	972	190	265	63	①+②+③+④
⑥正味固定資産	36,659	28,071	8,588	1,590	26,221	17	17	953	416	10,220	42,087	36,894	5,193	325	456	115	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	191	146	45	8	136	0	0	5	2	53	219	192	27	2	2	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	506	387	119	22	362	0	0	13	6	141	581	509	72	4	6	2	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	2,193	1,894	299	84	1,062	1	1	55	20	892	553	518	35	14	20	5	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	39,549	30,498	9,051	1,704	27,781	18	18	1,026	444	11,306	43,440	38,113	5,327	345	484	123	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	6,561	5,059	1,502	283	4,609	3	3	170	74	1,876	7,207	6,323	884	57	80	20	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	426	369	57	15	328	0	0	11	4	144	571	360	211	1	1	0	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	4,222	3,174	1,048	283	2,958	2	2	119	60	1,401	3,971	3,732	239	59	82	19	
⑭固定資産除却損	543	27	516	0	14	0	0	0	0	6	11	8	3	0	0	0	

区分	収容ルータ			中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ		収容ルータ(SNI等)		網終端装置(IISP)	伝送路		セッションボードコントローラ	ENUMサーバ	I P 電話用DNSサーバ	備考	
	収容ルータ(1Gbps)	収容ルータ(10Gbps)				新ゲートウェイルータ(再掲)			ダークファイバ以外		ダークファイバ						
①設備管理運営費	20,125	14,918	5,207	1,003	12,962	8	8	552	219	6,432	8,804	8,066	738	174	243	56	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	48	29	18	2	43	0	0	1	1	12	56	49	7	0	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	1,091	672	419	56	969	0	0	29	12	284	1,281	1,115	166	10	15	4	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利率
④利益対応税	467	288	179	24	415	0	0	12	5	122	549	478	71	4	6	2	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	21,731	15,907	5,823	1,085	14,389	8	8	594	237	6,850	10,690	9,708	982	188	265	62	①+②+③+④

⑥正味固定資産	32,951	20,047	12,904	1,680	29,759	15	15	880	373	8,407	40,245	34,989	5,256	319	448	111	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	171	104	67	9	155	0	0	5	2	44	209	182	27	2	2	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	455	277	178	23	411	0	0	12	5	116	555	483	73	4	6	2	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	1,825	1,383	442	90	1,134	1	1	53	20	642	558	523	35	14	20	5	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	35,402	21,811	13,591	1,802	31,459	16	16	950	400	9,209	41,567	36,177	5,391	339	476	119	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	5,873	3,618	2,255	299	5,219	3	3	158	66	1,528	6,896	6,002	894	56	79	20	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	350	264	86	16	372	0	0	11	4	118	555	341	214	1	1	0	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	4,098	2,511	1,587	265	3,496	2	2	114	58	1,174	3,777	3,534	243	60	83	19	
⑭固定資産除却損	1,077	1,077	0	0	20	0	0	0	0	6	11	8	3	0	0	0	

区分	収容ルータ			中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ		収容ルータ(SNI等)		SNIルータ(再掲) (I P 電話)	網終端装置(I S P)	伝送路		セッション ボードコントローラ	E N U Mサーバ	I P 電話用 D N Sサーバ	備考
	収容ルータ	収容ルータ (1 G b p s)	収容ルータ (1 0 G b p s)			新ゲート ウェイルータ (再掲)	収容ルータ (S N I 等)	SN Iルータ (再掲)	ダークファイバ 以外			ダークファイバ					
①設備管理運営費	14,997	7,992	7,005	1,013	11,433	8	8	539	213	6,138	8,729	7,987	742	275	388	89	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	39	14	24	3	35	0	0	1	0	12	54	46	7	1	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	882	329	554	60	801	0	0	27	11	273	1,223	1,055	168	18	25	6	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利率
④利益対応税	378	141	237	26	343	0	0	12	5	117	524	452	72	8	11	3	(③自己資本費用+(⑪有利子負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	16,296	8,476	7,820	1,102	12,612	8	8	579	229	6,540	10,530	9,540	989	302	425	98	①+②+③+④

⑥正味固定資産	26,837	9,778	17,059	1,803	24,537	13	13	811	331	8,076	38,402	33,096	5,306	537	760	189	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	140	51	89	9	128	0	0	4	2	42	200	172	28	3	4	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	370	135	235	25	339	0	0	11	5	111	530	457	73	7	10	3	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	1,290	701	589	96	995	1	1	52	19	626	563	529	35	22	32	7	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	28,637	10,665	17,972	1,933	25,999	14	14	878	357	8,855	39,695	34,254	5,442	569	806	200	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利子負債以外の負債の額	4,751	1,769	2,981	321	4,313	2	2	146	59	1,469	6,585	5,683	903	94	134	33	⑩レートベース×他人資本比率×有利子負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	243	129	114	17	307	0	0	11	4	113	539	323	216	2	2	0	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	3,578	1,398	2,180	229	3,152	2	2	111	56	1,009	3,674	3,428	246	96	134	31	
⑭固定資産除却損	858	858	0	0	18	0	0	0	0	5	11	8	3	0	0	0	

区分	収容ルータ			中継ルータ	SIPサーバ	ゲートウェイルータ		収容ルータ(SNI等)		網終端装置(ISP)	伝送路			セッションボーダコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	備考
		収容ルータ(1Gbps)	収容ルータ(10Gbps)				新ゲートウェイルータ	収容ルータ(SNI等)	SNIルータ(再掲)(IP電話)			ダークファイバ以外	ダークファイバ				
①設備管理運営費	10,930	2,812	8,118	1,063	9,328	8	8	524	207	5,911	8,626	7,881	745	297	419	97	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
②他人資本費用	31	4	27	3	25	0	0	1	0	12	51	44	7	1	1	0	⑩レートベース×他人資本比率×他人資本利率
③自己資本費用	713	93	621	64	577	0	0	25	10	265	1,165	996	169	21	30	7	⑩レートベース×自己資本比率×自己資本利益率
④利益対応税	305	40	266	27	247	0	0	11	4	113	499	427	72	9	13	3	(③自己資本費用+(⑪有利負債以外の負債の額×利子相当率))×利益対応税率
⑤合計	11,979	2,949	9,032	1,157	10,177	8	8	561	221	6,301	10,341	9,348	993	328	463	107	①+②+③+④

⑥正味固定資産	21,858	2,753	19,105	1,949	17,589	11	11	746	292	7,828	36,535	31,192	5,343	638	909	225	(別添2)、(別添4)、(別添6)、(別添8)、(別添10)、(別添12)、(別添14)、(別添16)、(別添18)、(別添20)より
⑦投資等	114	14	99	10	91	0	0	4	2	41	190	162	28	3	5	1	⑥正味固定資産×投資等比率
⑧貯蔵品	302	38	264	27	243	0	0	10	4	108	504	430	74	9	13	3	⑥正味固定資産×貯蔵品比率
⑨運転資本	882	206	676	101	812	1	1	51	19	611	566	531	34	24	33	8	(①設備管理運営費-(⑫租税公課+⑬減価償却費+⑭固定資産除却損))×45.625日÷365日
⑩レートベース	23,156	3,011	20,144	2,087	18,735	12	12	811	317	8,588	37,795	32,315	5,479	674	960	237	⑥+⑦+⑧+⑨
⑪有利負債以外の負債の額	3,841	500	3,342	346	3,108	2	2	135	53	1,425	6,270	5,361	909	112	159	39	⑩レートベース×他人資本比率×有利負債以外の負債が負債の合計に占める割合
⑫租税公課	164	36	128	18	220	0	0	11	4	110	522	304	218	2	2	0	(別添1)、(別添3)、(別添5)、(別添7)、(別添9)、(別添11)、(別添13)、(別添15)、(別添17)、(別添19)より
⑬減価償却費	3,025	443	2,582	236	2,600	2	2	107	54	909	3,567	3,318	249	106	150	35	
⑭固定資産除却損	682	682	0	0	12	0	0	0	0	5	11	8	3	0	0	0	

2. 機能別原価の算定及び料金の設定

A. 端末系ルータ交換機能

(1) 1Gbit/sタイプのうち、(2)以外

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	51,140	(別紙1)の2の(1)のb
②装置数(装置)	8,883	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの1の(1)
③料金(円/装置・月)	479,755	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 1Gbit/sタイプのうち、専らIP電話の提供の用に供するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	996	1の⑤SNIルータ(IP電話) ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②装置数(装置)	251	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの1の(4)
③料金(円/装置・月)	330,677	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(3) 10Gbit/sタイプ

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	26,793	(別紙1)の2の(1)のc
②装置数(装置)	2,392	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの1の(2)
③料金(円/装置・月)	933,424	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

B. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(1Gbit/sタイプ・10Gbit/sタイプ)

(1) SIPサーバを用いて制御するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	982	(別紙1)の2の(2)のb
②ひかり電話施設数(千ch)	33,895	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの5のa
③料金(円/ch・月)	2,41	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 優先クラスを識別するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	2,1604	(別紙1)の2の(2)のa
②契約数(千契約)	79	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの3
③料金(円/契約・月)	2,28	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(3) 上記以外

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	1,583	(別紙1)の2の(2)のc
②装置数(装置)	11,275	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの1の(1)+(2)
③料金(円/装置・月)	11,478	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

C. 専門系ルータ交換機能

(1) 第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するものうちPPPoE方式で接続する場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	31,673	1の⑤網終端装置(ISP) ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②装置数(装置)	4,925	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの1の(3)
③料金(円/装置・月)	535,922	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7-2欄で接続するものとして当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	35	1の⑤ゲートウェイルータ(新ゲートウェイルータ) ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②通信時間(千時間)	821,814	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(2)の⑤+⑥
③料金(円/秒)	0.000010547	①÷②÷12ヶ月×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

D. SIPサーバ機能

(1) (2)以外の場合

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	15,909	(別紙2)の2のa
②通信回数(千回)	42,820,580	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(1)の⑦
③料金(円/回)	0.37153	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 専ら光IP電話の提供の用に供するもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	36,770	(別紙2)の2のb
②通信回数(千回)	32,489,337	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(1)の①+④
③料金(円/回)	1,13176	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

E. SIP信号変換機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	1,052	1の⑤セッションボーダコントローラ ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②通信回数(千回)	34,133,492	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(1)の⑧
③料金(円/回)	0.030820	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

F. 番号管理機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	1,480	1の⑤ENUMサーバ ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②通信回数(千回)	42,820,580	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(1)の⑦
③料金(円/回)	0.034563	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

G. ドメイン名管理機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	345	1の⑤IP電話用DNSサーバ ※2024年度-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)
②通信回数(千回)	24,080,486	IX. 料金設定に用いた設備数及びトラフィックの2の(1)の⑧
③料金(円/回)	0.014327	①÷②×(1+X. 料金設定に使用する貸倒率)

H. 一般中継系ルータ交換伝送機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度			備考
	中継ルータ	伝送路		
		ダークファイバ以外	ダークファイバ	
①原価(百万円)	4,637	41,098	4,172	49,907
②通信量(Mbit)	1,593,858,522,972,240	1,625,533,222,147,630	-	-
③料金(円/Mbit)	0.000002909	0.000025283	0.000002567	0.000030759

a. ベストエフォートクラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度			備考
	(ア)中継ルータ	伝送路		
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ	
料金(円/Mbit)	0.000002909	0.000025283	0.000002567	0.000030759

b. 優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度			備考
	(ア)中継ルータ	伝送路		
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ	
料金(円/Mbit)	0.000003380	0.000029379	0.000002983	0.000035742

c. 高優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度			備考
	(ア)中継ルータ	伝送路		
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ	
料金(円/Mbit)	0.000003662	0.000031831	0.000003232	0.000038725

d. 最優先クラスのもの

区分	2024年度第4四半期-2028年度			備考
	(ア)中継ルータ	伝送路		
		(イ)ダークファイバ以外	(ウ)ダークファイバ	
料金(円/Mbit)	0.000003674	0.000031932	0.000003242	0.000038848

C. 閉門系ルータ交換機能

(4) 第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するものうちIPoE方式で接続する場合

(7)大阪府内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	528,682	
②設備管理運営費	94,759	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	374	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	488	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	206	
⑥合計	95,827	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	95,116	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	711	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	530,120	
②設備管理運営費	95,051	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	375	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	489	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	207	
⑥調整額	711	(d)の①より
⑦合計	96,833	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	48	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	168,113	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(1)兵庫県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	320,246	
②設備管理運営費	54,264	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	213	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	278	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	118	
⑥合計	54,873	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 414	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	54,091	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	368	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	324,793	
②設備管理運営費	55,187	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	217	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	283	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	120	
⑥調整額	368	(d)の①より
⑦合計	56,175	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	19	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	246,382	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ウ)愛知県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	357,724	
②設備管理運営費	61,876	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	240	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	313	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	132	
⑥合計	62,561	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 409	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	61,553	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	599	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	364,183	
②設備管理運営費	63,188	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	244	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	319	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	135	
⑥調整額	599	(d)の①より
⑦合計	64,485	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	26	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	206,683	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(1) 広島県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	321,662	
②設備管理運営費	54,551	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	214	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	280	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	118	
⑥合計	55,163	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 423	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	54,463	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	277	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	323,964	
②設備管理運営費	55,019	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	216	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	282	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	119	
⑥調整額	277	(d)の①より
⑦合計	55,913	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	17	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	274,083	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ホ)福岡県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	359,443	
②設備管理運営費	62,225	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	241	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	314	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	133	
⑥合計	62,913	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 467	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	62,140	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	306	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	360,813	
②設備管理運営費	62,504	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	242	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	315	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	134	
⑥調整額	306	(d)の①より
⑦合計	63,501	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	24	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	220,490	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(カ) 京都府内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	185,435	
②設備管理運営費	29,728	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	132	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	172	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	72	
⑥合計	30,104	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位: 千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 208	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位: 千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	29,629	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位: 千円)

区分	調整額	備考
①調整額	267	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位: 千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	211,540	
②設備管理運営費	35,031	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	150	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	196	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	82	
⑥調整額	267	(d)の①より
⑦合計	35,726	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位: 円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	10	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	297,717	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(キ)静岡県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	271,933	
②設備管理運営費	42,938	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	194	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	253	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	107	
⑥合計	43,492	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 336	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	42,788	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	368	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	292,964	
②設備管理運営費	47,210	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	208	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	272	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	115	
⑥調整額	368	(d)の①より
⑦合計	48,173	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	9	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	446,046	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(7) 岐阜県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	180,423	
②設備管理運営費	28,710	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	128	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	168	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	70	
⑥合計	29,076	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 204	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	28,614	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	258	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,960	
②設備管理運営費	29,226	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	71	
⑥調整額	258	(d)の①より
⑦合計	29,855	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	6	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	414,653	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ケ)三重県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,704	
②設備管理運営費	27,549	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	27,903	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	▲ 203	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,451	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	249	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,704	
②設備管理運営費	27,549	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	249	(d)の①より
⑦合計	28,152	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	4	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	586,500	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(3) 熊本県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,609	
②設備管理運営費	28,774	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	72	
⑥合計	29,146	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	28,898	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	248	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,609	
②設備管理運営費	28,774	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	72	
⑥調整額	248	(d)の①より
⑦合計	29,394	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	5	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	489,900	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(イ) 鹿児島県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,900	
②設備管理運営費	27,614	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	70	
⑥合計	27,974	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,735	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	239	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,676	
②設備管理運営費	28,787	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	72	
⑥調整額	239	(d)の①より
⑦合計	29,398	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	5	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	489,967	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(イ)岡山県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	185,113	
②設備管理運営費	29,282	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	132	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	172	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	73	
⑥合計	29,659	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	29,408	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	251	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	185,113	
②設備管理運営費	29,282	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	132	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	172	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	73	
⑥調整額	251	(d)の①より
⑦合計	29,910	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	6	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	415,417	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ス)長崎県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,879	
②設備管理運営費	26,594	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,944	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,732	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	212	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,416	
②設備管理運営費	27,110	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	69	
⑥調整額	212	(d)の①より
⑦合計	27,677	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	3	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	768,806	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(セ)山口県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,900	
②設備管理運営費	27,614	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	70	
⑥合計	27,974	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,735	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	239	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,676	
②設備管理運営費	28,787	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	72	
⑥調整額	239	(d)の①より
⑦合計	29,398	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	5	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	489,967	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ウ) 滋賀県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,900	
②設備管理運営費	27,614	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものと
⑤利益対応税	70	
⑥合計	27,974	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,735	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	239	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,900	
②設備管理運営費	27,614	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものと
⑤利益対応税	70	
⑥調整額	239	(d)の①より
⑦合計	28,213	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	4	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	587,771	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(9) 石川県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	182,736	
②設備管理運営費	28,799	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	130	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	170	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	72	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	29,404	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	5	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	490,067	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(フ)富山県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,179	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,458	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ウ)奈良県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,423	
②設備管理運営費	27,111	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	69	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,699	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	3	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	769,417	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(7)愛媛県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,423	
②設備管理運営費	27,111	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	69	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,699	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	3	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	769,417	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ト) 香川県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,179	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,458	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(十)佐賀県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,946	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,713	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,886	
②設備管理運営費	26,596	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,179	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,458	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(二) 沖縄県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,907	
②設備管理運営費	27,616	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	70	
⑥合計	27,976	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,736	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	240	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,907	
②設備管理運営費	27,616	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	70	
⑥調整額	240	(d)の①より
⑦合計	28,216	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	4	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	587,833	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(2) 大分県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,191	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,958	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ホ)和歌山県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,191	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,958	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ノ)宮崎県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したもの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,191	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,958	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ハ) 福井県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,324	
②設備管理運営費	27,118	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	69	
⑥合計	27,473	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	27,236	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	237	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	174,324	
②設備管理運営費	27,118	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	124	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	162	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	69	
⑥調整額	237	(d)の①より
⑦合計	27,710	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	3	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	769,722	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(b) 徳島県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,694	
②設備管理運営費	27,577	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	69	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	28,169	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,173,708	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(7) 島根県内の設置場所において接続する場合

(1) 原価の算定

(a) 前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b) 前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c) 前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d) 調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e) 原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,191	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2) 料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,958	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(ハ)鳥取県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	27,191	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,132,958	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

(木)高知県内の設置場所において接続する場合

(1)原価の算定

(a)前々算定期間における費用

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	171,814	
②設備管理運営費	26,608	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	122	①取得固定資産額について、2024年3月末時点の利用実績に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	160	また、⑤利益対応税について、2023年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	68	
⑥合計	26,958	(②+③+④+⑤) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(b)前々算定期間における調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①前々算定期間における調整額	0	2023年度適用料金において加算した調整額

(c)前々算定期間における接続料に係る収入

(単位:千円)

区分	収入等	備考
①前々算定期間における接続料金	26,725	2024年3月末時点の適用料金より

(d)調整額

(単位:千円)

区分	調整額	備考
①調整額	233	((a)の⑥+(b)の①) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率) - (c)の①

(e)原価

(単位:千円)

区分	コスト等	備考
①取得固定資産価額	176,863	
②設備管理運営費	27,611	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠して、設備管理運営費、他人資本費用、自己資本費用、利益対応税を算定
③他人資本費用	126	①取得固定資産額について、2025年4月1日時点の利用見込に基づき、当該電気通信設備を構成する共通部、スロット、パッケージを取得年度毎に算出した値を合算したもの
④自己資本費用	164	また、⑤利益対応税について、2025年度適用の利益対応税率(42.35%(Ⅷより))を用いて算定したものの
⑤利益対応税	70	
⑥調整額	233	(d)の①より
⑦合計	28,204	(②+③+④+⑤+⑥) × (1+XIV. 料金設定に使用する貸倒率)

(2)料金の設定

(単位:円)

区分	料金等	備考
①利用中止事業者からの既回収額	0	接続約款 料金表 第1表接続料金 第2網改造料の算出式に準拠し年額料金から減額する料金額
②ポート数(ポート)	2	2025年4月1日時点のポート数
③接続料金(月額)	1,175,167	((1)の(e)⑦-(2)の①) ÷ (2)の② ÷ 12ヶ月

3. 前期料金適用期間における乖離額

A. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	13,137	12,579	▲558	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	158,635	151,897	▲6,738	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のaの③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	158,635	164,294	5,659	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	12,397	12,397	③-②

b. (再掲)端末系ルータ交換機能(1Gbit/sタイプ)

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	13,137	12,579	▲558	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	68,062	65,171	▲2,891	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のAの(1)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	68,062	71,636	3,574	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	6,465	6,465	③-②

c. (再掲)一般収容局ルータ優先パケット識別機能(1Gbit/sタイプ)※SIPサーバを用いて制御するもの及び優先クラスを識別するものを除く

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	13,137	12,579	▲558	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	1,317	1,261	▲56	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のBの(3)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	1,317	1,439	122	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	178	178	③-②

d. (再掲)その他

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要	-	-	-	
②収入(百万円)	89,256	85,465	▲3,791	a-b-c
③原価(百万円)	89,256	91,219	1,963	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	5,754	5,754	③-②

e. その他の分計

	-	-	乖離額	備考
乖離額(百万円)	-	-	5,754	dの④
①収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	-	-	3,545	①×(5のAの⑤)÷(5のAの⑤+5のBの⑤))
②収容局接続機能(10Gbit/sタイプ)	-	-	2,209	①×(5のBの⑤)÷(5のAの⑤+5のBの⑤))

B. 端末系ルータ交換機能(10Gbit/sタイプ)

	2020年度-2024年度第3四半期の予測	2020年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	184	282	98	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	1,534	2,352	818	2020年度網使用料算定根拠(10Gbit/sインターフェースに対応する新たな設備に関する接続料)のⅡのAの(1)の③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	1,534	4,097	2,563	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	1,745	1,745	③-②

C. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(10Gbit/sタイプ)※SIPサーバを用いて制御するもの及び優先クラスを識別するものを除く

	2020年度-2024年度第3四半期の予測	2020年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(装置)	184	282	98	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	52	79	27	2020年度網使用料算定根拠(10Gbit/sインターフェースに対応する新たな設備に関する接続料)のⅡのAの(2)のbの③×①×12ヶ月
③原価(百万円)	52	83	31	2020年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	4	4	③-②

D. 光IP電話接続機能(県内NGN)の回数比例

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(百万回)	26,056	26,440	383	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	19,339	19,623	284	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のbの⑤×①
③原価(百万円)	19,339	22,020	2,681	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	2,397	2,397	③-②

E. 光IP電話接続機能(県内NGN)の時間比例

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要(百万時間)	714	745	31	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入(百万円)	7,694	8,033	339	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの3のbの⑥×3600秒×①
③原価(百万円)	7,694	7,389	▲305	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額(百万円)	0	▲644	▲644	③-②

F. 一般収容局ルータ優先パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要 (契約数)	73,517	33,453	▲40,064	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入 (百万円)	2,0068	0,9113	▲1,0955	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のBの(2)の③×①×12ヶ月
③原価 (百万円)	2,0068	1,0146	▲0,9922	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額 (百万円)	0,0000	0,1033	0,1033	③-②

G-1. 一般中継系ルータ交換伝送機能

	2021年度-2024年度第3四半期の予測	2021年度-2024年度第3四半期の実績	予測と実績の乖離	備考
①需要 (Mbit)	-	-	-	
中継ルータ	657,628,168	907,495,300	249,867,132	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ以外	707,306,666	946,384,261	239,077,594	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ	707,306,666	946,384,261	239,077,594	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
②収入 (百万円)	50,528	67,963	17,435	
中継ルータ	8,500	11,729	3,230	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
ダークファイバ以外	38,687	51,763	13,077	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
ダークファイバ	3,341	4,470	1,129	2021年度網使用料算定根拠(NGN)のⅡの2のIの③×①
③原価 (百万円)	50,528	49,087	▲1,441	
中継ルータ	8,500	3,433	▲5,067	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ以外	38,687	41,769	3,082	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
ダークファイバ	3,341	3,885	544	2021年度-2024年度第3四半期の実績における2024年度第1四半期-2024年度第3四半期は予測値
④乖離額 (百万円)	0	▲18,876	▲18,876	
a.中継ルータ	0	▲8,296	▲8,296	③-②
b.ダークファイバ以外	0	▲9,994	▲9,994	③-②
c.ダークファイバ	0	▲585	▲585	③-②

G-2. 一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラスのもの)の乖離額単金

	-	-	乖離額単金	備考
①ベストエフォート(円/Mbit)	-	-	▲0.000011713	
a.中継ルータ	-	-	▲0.000005205	G-1の④のa÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のウのg
b.ダークファイバ以外	-	-	▲0.000006148	G-1の④のb÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のエのg
c.ダークファイバ	-	-	▲0.000000360	G-1の④のc÷Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(2)のエのg
②優先クラス(円/Mbit)	-	-	▲0.000013610	
中継ルータ	-	-	▲0.000006048	①のa×(別紙6)の5の優先クラス
ダークファイバ以外	-	-	▲0.000007144	①のb×(別紙6)の5の優先クラス
ダークファイバ	-	-	▲0.000000418	①のc×(別紙6)の5の優先クラス

4. その他の乖離額等

A. 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能

a. 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(ATMインタフェースにより符号伝送が可能なもの)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①需要 (装置、ポート)	11,262	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
②収入 (百万円)	11,600	各年度の実績需要に各年度の適用網使用料を乗じたもの
③原価 (百万円)	18,344	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
④適用接続料算定時における乖離額 (百万円)	▲6,253	2021年度-2022年度の乖離額を合計したもの
⑤乖離額 (百万円)	491	③+④-②

b. 特別収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(ISDN一次群速度ユーザ・網インタフェースにより符号伝送が可能なもの)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①需要 (装置、ポート)	18,558	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
②収入 (百万円)	1,534	各年度の実績需要に各年度の適用網使用料を乗じたもの
③原価 (百万円)	1,720	2021年度-2023年度第3四半期の実績を合計したもの
④適用接続料算定時における乖離額 (百万円)	▲75	2021年度-2022年度の乖離額を合計したもの
⑤乖離額 (百万円)	111	③+④-②

c. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)の原価に加算する乖離額の分計

(単位:百万円)

	2021年度-2023年度第3四半期	備考
①乖離額	602	aの⑤+bの⑤
②収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	371	①×(5-1のAの⑤)÷(5-1のAの⑤+5-1のBの⑤))
③収容局接続機能(10Gbit/sタイプ)	231	①×(5-1のBの⑤)÷(5-1のAの⑤+5-1のBの⑤))

B. PSTNのIP網への移行に伴い不要となる設備

a. 不要となる設備の除却損および撤去費

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
①変換装置	83	設備撤去計画等に基づき予測
②ゲートウェイルータ(中継局接続)	10	設備撤去計画等に基づき予測
③中継交換機・相互接続交換機	588	設備撤去計画等に基づき予測
④信号交換機	12	設備撤去計画等に基づき予測
⑤合計	693	

b. 利用部門が負担する網内呼相当を控除したもの

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
①変換装置	83	aの①
②ゲートウェイルータ(中継局接続)	10	aの②
③中継交換機・相互接続交換機	487	aの③×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑧+⑨)/⑦)
④信号交換機	10	aの④×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩+⑪)/⑦)
⑤合計	590	

c. 光IP電話接続機能(NGN県内)およびメタルIP電話接続機能(NGN県内)に分計したもの

(単位:百万円)

	2024年度第4四半期-2028年度の予測	備考
光IP電話接続機能(県内NGN)	443	
①回数比例	8	bの④×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の①+⑩)/⑦)
②時間比例	435	(bの①+②+③)×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の①+⑧)/⑦)
メタルIP電話接続機能(県内NGN)	147	
③回数比例	2	bの④×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の②+⑪)/⑦)
④時間比例	145	(bの①+②+③)×((IX. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の②+⑨)/⑦)
⑤合計	590	

A. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

(単位:百万円)

機能	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
①端末系ルータ交換機能	51,140	2のAの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)×12ヶ月	
②優先パケット識別機能	1,019	(別紙1)の2の(2)のd	
③一般中継系ルータ交換伝送機能	中継ルータ	2,587	2のHのaの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
	ダークファイバ以外	22,488	2のHのaの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
	ダークファイバ	2,283	2のHのaの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のaのトラヒック比
④関門系ルータ交換機能 (1)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するものうちPPPoE方式で接続する場合	18,240	2のCの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月×(別紙3)の2のaのトラヒック比	
⑤合計	97,757		

B. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(10Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

(単位:百万円)

機能	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
①端末系ルータ交換機能	26,793	2のAの(3)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月	
②優先パケット識別機能	534	(別紙1)の2の(2)のe	
③一般中継系ルータ交換伝送機能	中継ルータ	1,906	2のHのaの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
	ダークファイバ以外	16,562	2のHのaの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
	ダークファイバ	1,682	2のHのaの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのa×(別紙3)の2のbのトラヒック比
④関門系ルータ交換機能 (1)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7欄で接続するものうちPPPoE方式で接続する場合	13,433	2のCの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)×12ヶ月×(別紙3)の2のbのトラヒック比	
⑤合計	60,910		

C. 光IP電話接続機能(県内NGN)

(単位:百万円)

機能	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
①端末系ルータ交換機能	668	2のAの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(4)×12ヶ月×(別紙4)の2のa	
②優先パケット識別機能	657	2のBの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの5のa×12ヶ月×(別紙4)の2のa	
③一般中継系ルータ交換伝送機能(高優先クラスのもの)	中継ルータ	0	2のHのcの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのb
	ダークファイバ以外	0	2のHのcの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのb
	ダークファイバ	0	2のHのcの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのb
④一般中継系ルータ交換伝送機能(最優先クラスのもの)	中継ルータ	3	2のHのdの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのc
	ダークファイバ以外	25	2のHのdの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのc
	ダークファイバ	3	2のHのdの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのc
⑤関門系ルータ交換機能 (2)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7-2欄で接続するものであって当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合	26	2のCの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑤	
⑥SIPサーバ機能(1)(2)以外の場合	9,594	2のDの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩	
⑦SIPサーバ機能(2)専ら光IP電話の提供の用に供するもの	29,226	2のDの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩	
⑧SIP信号変換機能	796	2のEの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩	
⑨番号管理機能	893	2のFの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩	
⑩ドメイン名管理機能	245	2のGの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩	
⑪合計	42,136		

D. メタルIP電話接続機能(県内NGN)

(単位:百万円)

機能	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
①一般中継系ルータ交換伝送機能(最優先クラスのもの)	中継ルータ	1	2のHのdの(ア)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のアのd
	ダークファイバ以外	9	2のHのdの(イ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのd
	ダークファイバ	1	2のHのdの(ウ)×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの4の(1)のイのd
②関門系ルータ交換機能 (2)第5条(標準的な接続箇所)第1項の表中第7-2欄で接続するものであって当社中間配線盤又は当社が指定する装置で接続する場合	9	2のCの(2)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑥	
③SIPサーバ機能(1)(2)以外の場合	3,087	2のDの(1)の③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫	
④SIP信号変換機能	256	2のEの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫	
⑤番号管理機能	287	2のFの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫	
⑥ドメイン名管理機能	100	2のGの③×Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑬	
⑦合計	3,750		

a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(1Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価(百万円)	97,757	Aの⑤
②乖離額等(百万円)	10,559	3のAのbの④+3のAのcの④+3のAのeの①+4のAのcの②
③装置数(装置)	8,883	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(1)
④料金(円/装置・月)	1,016,136	(①+②)÷③÷12ヶ月

b. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(10Gbit/sタイプ)※収容局接続機能

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価 (百万円)	60,910	Bの⑤
②乖離額等 (百万円)	4,189	3のAのeの②+3のBの④+3のCの④+4のAのcの③
③装置数 (装置)	2,392	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの1の(2)
④料金 (円/装置・月)	2,267,942	(①+②)÷③÷12ヶ月

c. 光IP電話接続機能(県内NGN)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①回数比例コスト (百万円)	40,754	Cの⑥+⑦+⑧+⑨+⑩
②回数比例コストの乖離額等 (百万円)	2,405	3のDの④+4のBのcの①
③時間比例コスト (百万円)	1,382	Cの①+②+③+④+⑤
④時間比例コストの乖離額等 (百万円)	▲209	3のEの④+4のBのcの②
⑤通信回数(千回)	25,823,327	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑩
⑥通信時間(千時間)	683,582	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑧
⑦1回あたり(円/回)	1.67132	(①+②)÷⑤
⑧1秒あたり(円/秒)	0.0004767	(③+④)÷⑥

d. メタルIP電話接続機能(県内NGN)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①回数比例コスト (百万円)	3,730	Dの③+④+⑤+⑥
②回数比例コストの乖離額等 (百万円)	2	4のBのcの③
③時間比例コスト (百万円)	20	Dの①+②
④時間比例コストの乖離額等 (百万円)	145	4のBのcの④
⑤通信回数(千回)	8,310,165	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(1)の⑫
⑥通信時間(千時間)	238,232	Ⅹ. 料金設定に用いた設備数及びトラヒックの2の(2)の⑨
⑦1回あたり(円/回)	0.44909	(①+②)÷⑤
⑧1秒あたり(円/秒)	0.0001924	(③+④)÷⑥

5-2. その他の機能の原価の算定及び料金の設定(法定機能単金)

A. 一般収容局ルータ優先/パケット識別機能(優先クラスを識別するもの)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①原価 (百万円)	2,1604	2のBの(2)の①
②乖離額 (百万円)	0.1033	3のFの④
③装置数 (千契約)	79	2のBの(2)の②
④料金 (円/契約・月)	2.39	(①+②)÷③÷12ヶ月

B. 一般中継系ルータ交換伝送機能(優先クラスのもの)

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
①乖離額反映前単金(円/Mbit)	0.000035742	2のHのb
②乖離額単金(円/Mbit)	▲0.000013610	3のG-2の②
③料金(円/Mbit)	0.000022132	①+②

Ⅲ. 投資等比率及び貯蔵品比率の算定

(1) 投資等比率の算定

(単位：百万円)

区分	首末平均残高
指定設備管理部門の電気通信事業固定資産	2,285,656 (A)
指定設備管理部門における投資等(収益の見込まれないもの) (※)	11,929 (B)
投資等比率 (B ÷ A)	0.0052 (C)

※ 投資等は、収益性が見込まれない出資金、保証金・負担金等である。

(2) 貯蔵品比率の算定

(単位：百万円)

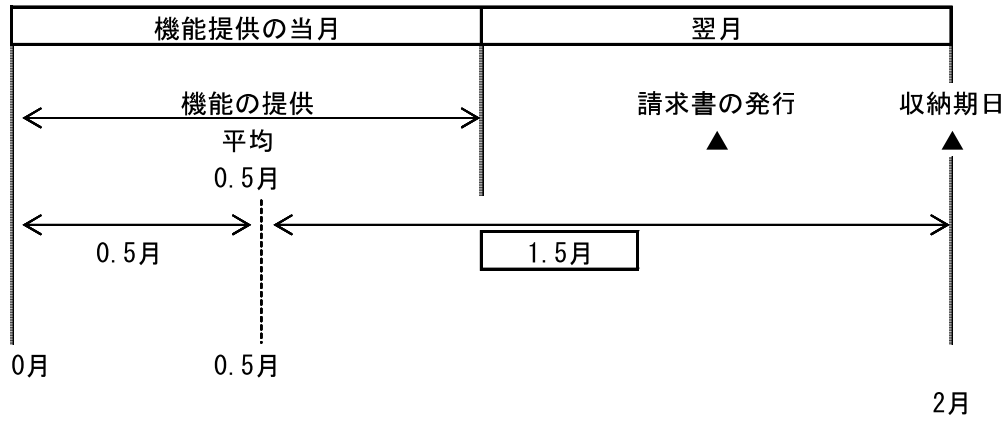
区分	首末平均残高
電気通信事業固定資産	2,606,112 (A)
貯蔵品 (※)	36,022 (B)
貯蔵品比率 (B ÷ A)	0.0138 (C)

※ 貯蔵品は、現用に供されるまでの間保管されている電気通信設備用品（新品）であり、金額は月末在庫額の年平均値である。

(注) なお繰延資産比率については、繰延資産が発生していないので無しとする。

IV. 接続料収納までの平均的な日数の算定

(1) 機能の提供と接続料の収納までの日程



(2) 機能の提供から当該機能に係る接続料の収納までの平均的な日数の算定

機能の提供から当該機能に係る接続料の収納までの平均的な日数

$$= \frac{1.5 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} \times 365 \text{ 日} = \boxed{45.625 \text{ 日}}$$

(1)より

VI. 他人資本利率の算定

(1) 有利子負債に対する利率

有利子負債の額に対する他人資本費用の2023年度実績とした。

$$\text{有利子負債に対する利率} = \boxed{0.33\%}$$

(単位：%)

区分 \ 年度	2023
他人資本利率	0.33

(注)借入金の平均利率である。

(2) 有利子負債以外の負債の利率相当率

国債利回りの過去5年平均とした。

$$\text{有利子負債以外の負債の利率相当率} = \boxed{0.21\%}$$

(単位：%)

区分 \ 年度	2019	2020	2021	2022	2023	平均
他人資本利率	0.00	0.04	0.09	0.30	0.62	0.21

(注)国債利回りについては、財務省HP掲載の「国債等関係諸資料」のうち「国債の入札結果」より、10年債の平均利回り（単利）の各年度平均値を使用する。
 なお、2019年度については、年間の平均値がマイナスの値となるため、「0.00%」として見込んだ。

(3) 他人資本利率

$$\text{他人資本利率} = 0.33\% \times 0.644 + 0.21\% \times 0.356 = \boxed{0.29\%}$$

(有利子負債に対する利率×有利子負債比率+国債利回り×有利子負債以外の負債の比率)

Ⅶ. 自己資本利益率の算定

1. CAPM的手法による自己資本利益率

(単位：%)

年度		年度							
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
区分									
β値の適用		○	○	○	○	○	○	○	○
リスクフリーレート(注1)(注3)		0.09	0.30	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
リスクプレミアム(注2)(注3)		8.80	8.70	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10
選択される自己資本利益率	β = 0.566 (注4)	5.07	5.22	5.77	5.77	5.77	5.77	5.77	5.77
平均(注5)				5.35	5.59	5.77	5.77	5.77	5.77

2. 主要企業の過去5年間の自己資本利益率

(単位：%)

年度		年度									
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
区分											
①リスクプレミアム(注2)(注3)		—	—	8.80	8.70	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10	9.10
②リスクフリーレート(注3)		—	—	0.09	0.30	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62
③主要企業の自己資本利益率(①+②)(注6)		7.15	5.04	8.89	9.00	9.72	9.72	9.72	9.72	9.72	9.72
平均(5年間)						7.96	8.47	9.41	9.58	9.72	9.72

3. 料金算定に採用した自己資本利益率

上記1、2を勘案し、低い方の1のCAPM的手法による自己資本利益率を採用する。(注7)

	2023	2024	2025	2026	2027	2028
自己資本利益率	5.35%	5.59%	5.77%	5.77%	5.77%	5.77%

(注1) 指定設備全体の平均的な耐用年数に着目し、耐用年数が10年超であることから国債10年ものの利回りを使用する。国債利回りについては、財務省HP掲載の「国債等関係諸資料」のうち「国債の入札結果」より、10年債の平均利回り(単利)の各年度平均値を使用する。

(注2) 2021年度、2022年度、2023年度のリスクプレミアムについては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の「Japanese Equity Risk Premia Report(各年3月末版)」の「Japan Long-Horizon Equity Risk Premia(計測期間:1952年から各基礎事業年度の3月末)」を使用する。(Copyright © 2024 Ibbotson Associates Japan, Inc. イボットソンの事前の書面による承諾のない利用、複製等は、全部または一部を問わず、損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。)

(注3) 2024年度以降のリスクプレミアム及びリスクフリーレートについては2023年度の実績値と同じと見込んだ。

(注4) β値については、「接続料の算定等に関する研究会」における議論を踏まえ、0.566を使用する。

(注5) 算定期間については、3年間とした。

(注6) 2020年度以前については、NEEDS(日本経済新聞社デジタル事業 情報サービスユニットの総合経済データバンク)の財務データより、「日経経営指標」と同様に、全国4証券取引所(東京(マザーズを含まない)、名古屋、札幌、福岡)に上場しており、7期連続で決算データの取得が可能な単体決算開示企業(金融業および外国企業を除く)の全業種平均値(単体指標)を使用する。

(注7) 接続料規則第12条第3項では「いずれか低い方を上限とした合理的な値」と記載があるが、上限値を採用した理由は下記の通り。
○自己資本利益率については、設備投資に係る調達コストを適正な範囲で賄えるような水準とすることを基本に、事業リスクと安定性を考慮した客観的な指標を用いて設定するものと認識している。
○当社としては、必要な設備を構築してサービス展開を行う自己設置事業者として他の自己設置事業者と激しい設備ベースでの競争を展開する中では、将来の事業リスクについて予測することが困難である以上、設備投資に係る調達コストに見合うリターン、すなわち投資インセンティブが働くような適切なリターンを見込むことが、民間企業として事業運営を安定的に行っていくためには必要であると考えられる。
○このように「投資インセンティブが働くような適切なリターン」を見込んだ自己資本利益率を設定する上では、「主要企業の自己資本利益率」の水準が一つの客観的な指標となると考えるが、接続料規則において、接続料算定上用いる自己資本利益率が主要企業の平均自己資本利益率をCAPM的手法により圧縮した値を上限値とするとされていることを踏まえると、最低限、上限値を採用することが調達コストを賄うために合理的な判断であると認識している。

VIII. 利益対応税率の算定 (2025年度適用のもの)

利益対応税としては、事業税、特別法人事業税、法人税、道府県民税、市町村民税、地方法人税を見込んだ。

利益対応税率 = 42.35%

(算定方法)

1. 税引前利益に対する率の算定

①税引前利益を y 、税額を x_n とする。

②事業税実効税率

事業税額を x_1 、特別法人事業税を x_2 とする。 ($x_2 = x_1 \times 2.600$)

$$x_1 = (y - (x_1 + x_2)) \times 0.010$$

$$= (y - (x_1 + x_1 \times 2.600)) \times 0.010 \quad \Rightarrow \quad x_1 = \frac{0.010}{1+0.036} \times y$$

$$= \underline{0.0097 y}$$

③特別法人事業税実効税率

特別法人事業税を x_2 とする。

$$x_2 = x_1 \times 2.600$$

$$= 0.0097 y \times 2.600$$

$$= \underline{0.0252 y}$$

④法人税実効税率

法人税額を x_3 とする。

$$x_3 = \text{事業税及び特別法人事業税引後利益} \times 0.232$$

$$= (y - (0.0097 y + 0.0252 y)) \times 0.232$$

$$= \underline{0.2239 y}$$

⑤道府県民税実効税率

道府県民税額を x_4 とする。

$$x_4 = \text{法人税額} \times 0.010$$

$$= 0.2239 y \times 0.010$$

$$= \underline{0.0022 y}$$

⑥市町村民税実効税率

市町村民税額を x_5 とする。

$$x_5 = \text{法人税額} \times 0.060$$

$$= 0.2239 y \times 0.060$$

$$= \underline{0.0134 y}$$

⑦地方法人税実効税率

地方法人税額を x_6 とする。

$$x_6 = \text{法人税額} \times 0.103$$

$$= 0.2239 y \times 0.103$$

$$= \underline{0.0231 y}$$

⑧税引前利益に対する利益対応税率

利益対応税額を x とする。

$$x = x_1 + x_2 + x_3 + x_4 + x_5 + x_6$$

$$= \underline{0.2975 y}$$

2. 税引後利益に対する率の算定

税引後利益を z 、税引前利益を y 、税額を x とする。

$$\text{利益対応税率} = \frac{x}{z} = \frac{0.2975 y}{(1-0.2975) y} = \frac{0.2975 y}{0.7025 y} = 0.4235$$

税引前利益 y
利益対応税 $x = 0.2975 y$
税引後利益 $z = (1-0.2975) y$

Ⅷ. 利益対応税率の算定 (乖離額算定時の原価算定に用いる2023年度適用のもの)

利益対応税としては、事業税、特別法人事業税、法人税、道府県民税、市町村民税、地方法人税を見込んだ。

$$\text{利益対応税率} = \boxed{42.35\%}$$

(算定方法)

1. 税引前利益に対する率の算定

①税引前利益を y 、税額を x_n とする。

②事業税実効税率

事業税額を x_1 、特別法人事業税を x_2 とする。 ($x_2 = x_1 \times 2.600$)

$$x_1 = (y - (x_1 + x_2)) \times 0.010$$

$$\begin{aligned} &= (y - (x_1 + x_1 \times 2.600)) \times 0.010 & \Rightarrow & x_1 = \frac{0.010}{1+0.036} \times y \\ & & & = \underline{0.0097 y} \end{aligned}$$

③特別法人事業税実効税率

特別法人事業税を x_2 とする。

$$\begin{aligned} x_2 &= x_1 \times 2.600 \\ &= 0.0097 y \times 2.600 \\ &= \underline{0.0252 y} \end{aligned}$$

④法人税実効税率

法人税額を x_3 とする。

$$\begin{aligned} x_3 &= \text{事業税及び特別法人事業税引後利益} \times 0.232 \\ &= (y - (0.0097 y + 0.0252 y)) \times 0.232 \\ &= \underline{0.2239 y} \end{aligned}$$

⑤道府県民税実効税率

道府県民税額を x_4 とする。

$$\begin{aligned} x_4 &= \text{法人税額} \times 0.010 \\ &= 0.2239 y \times 0.010 \\ &= \underline{0.0022 y} \end{aligned}$$

⑥市町村民税実効税率

市町村民税額を x_5 とする。

$$\begin{aligned} x_5 &= \text{法人税額} \times 0.060 \\ &= 0.2239 y \times 0.060 \\ &= \underline{0.0134 y} \end{aligned}$$

⑦地方法人税実効税率

地方法人税額を x_6 とする。

$$\begin{aligned} x_6 &= \text{法人税額} \times 0.103 \\ &= 0.2239 y \times 0.103 \\ &= \underline{0.0231 y} \end{aligned}$$

⑧税引前利益に対する利益対応税率

利益対応税額を x とする。

$$\begin{aligned} x &= x_1 + x_2 + x_3 + x_4 + x_5 + x_6 \\ &= \underline{0.2975 y} \end{aligned}$$

2. 税引後利益に対する率の算定

税引後利益を z 、税引前利益を y 、税額を x とする。

$$\text{利益対応税率} = \frac{x}{z} = \frac{0.2975 y}{(1-0.2975) y} = \frac{0.2975 y}{0.7025 y} = 0.4235$$

税引前利益	y
利益対応税	$x = 0.2975 y$
税引後利益	$z = (1-0.2975) y$

IX.料金設定に用いた設備数及びトラヒック

1.設備数等

(1) 収容ルータ(1Gbit/sタイプ)設置数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ(1Gbit/sタイプ)設置数	3,578	3,541	3,187	2,086	928	41	8,883	NGNのエリア展開及びユーザ数等を踏まえ予測

(2) 収容ルータ(10Gbit/sタイプ)設置数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ(10Gbit/sタイプ)設置数	79	192	402	608	808	888	2,392	NGNのエリア展開及びユーザ数等を踏まえ予測

(3) 網終端装置(ISP)設置数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
網終端装置(ISP)設置数	1,744	1,450	1,086	1,086	1,086	1,086	4,825	ユーザ数等を踏まえ予測

(4) SNIルータ(IP電話)設置数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
収容ルータ(IP電話)設置数	59	59	59	59	59	59	251	ユーザ数等を踏まえ予測

2. 電話トラヒック

(1) 通信回数

通信先	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
① 光IP電話(東日本エリア内)	2,090,885	1,968,522	1,805,329	1,620,547	1,451,359	1,296,644	6,666,010	2023年度の電話トラヒック実績を基に、 施設数の増加や他の通信先施設数の変動、 IP網への移行状況を加味して算定
② メタルIP電話(東日本エリア内)	493,906	615,105	612,828	507,019	414,201	333,254	2,021,078	
③ 光IP電話(旧ゲートウェイルータ経由)	4,150	0	0	0	0	0	0	
④ 光IP電話(メディアゲートウェイ経由)	4,951,326	1,818,737	0	0	0	0	0	
⑤ 光IP電話(新ゲートウェイルータ経由)	1,809,352	4,733,682	6,334,856	6,146,997	5,952,020	5,751,349	25,823,327	
⑥ メタルIP電話(新ゲートウェイルータ経由)	341,777	1,743,467	2,344,053	2,087,524	1,840,299	1,602,422	8,310,165	
⑦ 合計	9,691,396	10,879,513	11,097,066	10,362,087	9,657,879	8,983,669	42,820,580	
⑧ セッションボーダコントローラ経由	2,151,129	6,477,149	8,678,909	8,234,521	7,792,319	7,353,771	34,133,492	
⑨ DNSサーバ経由	1,477,837	4,597,599	6,162,841	5,823,584	5,487,663	5,156,024	24,080,486	
⑩ 光IP電話接続機能(県内NGN)	6,784,828	6,552,419	6,334,856	6,146,997	5,952,020	5,751,349	25,823,327	
⑪ DNSサーバ経由	1,197,837	3,133,417	4,193,710	4,072,216	3,945,625	3,814,911	17,110,790	
⑫ メタルIP電話接続機能(県内NGN)	341,777	1,743,467	2,344,053	2,087,524	1,840,299	1,602,422	8,310,165	⑥
⑬ DNSサーバ経由	280,000	1,464,182	1,989,131	1,751,368	1,542,038	1,341,113	6,969,696	

(2) 通信時間

通信先	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考	
① 光IP電話(東日本エリア内)	50,207	46,669	42,253	37,154	32,476	28,227	151,777	2023年度の電話トラヒック実績を基に、 施設数の増加や他の通信先施設数の変動、 IP網への移行状況を加味して算定	
② メタルIP電話(東日本エリア内)	9,411	12,644	12,477	10,074	8,019	6,277	39,963		
③ 光IP電話(旧ゲートウェイルータ経由)	643	0	0	0	0	0	0		
④ 光IP電話(メディアゲートウェイ経由)	143,274	51,720	0	0	0	0	0		
⑤ 光IP電話(新ゲートウェイルータ経由)	45,127	128,403	171,615	163,614	155,620	147,702	683,582		
⑥ メタルIP電話(新ゲートウェイルータ経由)	7,681	51,025	68,640	60,123	52,111	44,602	238,232		
⑦ 合計	256,343	290,281	294,985	270,965	248,226	226,808	1,113,544		
⑧ 光IP電話接続機能(県内NGN)	189,044	180,123	171,615	163,614	155,620	147,702	683,582		③+④+⑤
⑨ メタルIP電話接続機能(県内NGN)	7,681	51,025	68,640	60,123	52,111	44,602	238,232		⑥

3. 一般収容局ルータ優先パケット差別機能を用いた優先転送サービスの施設数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
優先転送サービス	11	14	16	19	21	24	75	2023年度実績を踏まえ予測

4. 通信量

(1) QoS制御係数考慮前

ア. 中継ルータに用いるもの	区分	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
ア. 中継ルータに用いるもの	a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)	242,929,983	272,988,370	306,781,127	344,910,971	387,957,870	436,631,291	1,544,528,351	2024年度第4四半期-2028年度
	b. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※高優先クラスのもの	63	17	10	8	7	6	35	45
	c. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	208,223	203,157	196,510	187,393	178,276	169,241	782,209	987,930
	d. メタルIP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	8,822	58,607	78,839	69,057	59,854	51,229	273,631	345,596
	e. 優先パケットルーティング伝送機能	2,536,281	2,517,035	2,497,808	2,478,600	2,459,409	2,440,232	10,505,309	12,207,169
	f. その他	8,802,653	9,161,096	9,088,027	7,847,465	5,646,531	3,553,258	28,425,556	35,789,432
	g. 合計	254,486,026	284,928,282	318,642,322	355,493,495	396,301,948	442,845,257	1,584,515,092	1,593,858,523

(2) QoS制御係数考慮後

ウ. 中継ルータに用いるもの

ウ. 中継ルータに用いるもの	区分	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
ウ. 中継ルータに用いるもの	a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)	242,929,983	272,988,370	306,781,127	344,910,971	387,957,870	436,631,291	1,544,528,351	2024年度第4四半期-2028年度
	b. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※高優先クラスのもの	63	17	10	8	7	6	35	45
	c. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	208,223	203,157	196,510	187,393	178,276	169,241	782,209	987,930
	d. メタルIP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	8,822	58,607	78,839	69,057	59,854	51,229	273,631	345,596
	e. 優先パケットルーティング伝送機能	2,536,281	2,517,035	2,497,808	2,478,600	2,459,409	2,440,232	10,505,309	12,207,169
	f. その他	8,802,653	9,161,096	9,088,027	7,847,465	5,646,531	3,553,258	28,425,556	35,789,432
	g. 合計	254,486,026	284,928,282	318,642,322	355,493,495	396,301,948	442,845,257	1,584,515,092	1,593,858,523

イ. 伝送路に用いるもの

イ. 伝送路に用いるもの	区分	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2024年度第4四半期-2028年度	備考
イ. 伝送路に用いるもの	a. 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)	242,929,983	272,988,370	306,781,127	344,910,971	387,957,870	436,631,291	1,544,528,351	2024年度第4四半期-2028年度
	b. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※高優先クラスのもの	63	17	10	8	7	6	35	45
	c. 光IP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	208,223	203,157	196,510	187,393	178,276	169,241	782,209	987,930
	d. メタルIP電話接続機能(県内NGN) ※最優先クラスのもの	8,822	58,607	78,839	69,057	59,854	51,229	273,631	345,596
	e. 優先パケットルーティング伝送機能	2,536,281	2,517,035	2,497,808	2,478,600	2,459,409	2,440,232	10,505,309	12,207,169
	f. その他	16,894,161	17,537,998	17,384,758	14,920,438	10,533,718	6,360,761	53,884,173	67,464,131
	g. 合計	262,537,533	293,305,182	326,939,053	362,566,467	401,189,133	445,652,760	1,609,673,709	1,625,533,222

5. 施設数

区分	2023年度末実績	2024年度末	2025年度末	2026年度末	2027年度末	2028年度末	2024年度第4四半期-2028年度の稼働合計	備考
a. ひかり電話(千台)	8,577	8,366	8,155	7,944	7,733	7,522	33,895	
b. フレッツ光(千契約)	10,240	10,220	10,200	10,180	10,160	10,140	43,278	

X.料金設定に使用する貸倒率

(単位:百万円)

	2023年度	備考
①接続料の貸倒額	0	参考1.設備区分別の費用明細表より
②接続料	100,367	2023年度実績 (接続会計報告書 様式第1 第一種指定設備管理部門の受取網使用料、接続装置使用料収入、網改造料収入の合計)
貸倒率	0.00000%	①÷②

(別紙1) 収容ルータのコスト分計に用いた契約数比等

1. 算定方法

収容ルータのうち、優先パケット識別等に係る構成物品(以下、「高速制御部の一部」と記載)について、特別調査によりコストを特定。
「高速制御部の一部」のコストについて、契約数比等により各機能に分計。

2. 算定結果

(1) 収容ルータのうち、「高速制御部の一部」のコストの特定

	接続料原価 (単位:百万円)	備考
a.収容ルータ(高速制御部の一部)	2,537	特別調査により特定
b.収容ルータ(1Gbit/sタイプ)(高速制御部の一部以外)	51,140	特別調査により特定
c.収容ルータ(10Gbit/sタイプ)(高速制御部の一部以外)	26,793	特別調査により特定
d.合計	80,470	(Ⅱ-1)⑤収容ルータ ※2024年度第4四半期-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)

(2)「高速制御部の一部」のコストの分計

	契約数比等	接続料原価 (単位:百万円)	備考
a.優先パケット機能で用いる場合	0.085156%	2,1604	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いた優先転送サービス施設数
b.SIPサーバと連携して提供する場合	38.71%	982	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いたひかり電話施設数等
c.上記以外	61.21%	1,553	一般収容局ルータ優先パケット識別機能を用いたフレッツ施設数等
d.収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	-	1,019	$c \times ((1)のb / ((1)のb + (1)のc))$
e.収容局接続機能(10Gbit/sタイプ)	-	534	$c \times ((1)のc / ((1)のb + (1)のc))$
f.合計	100.00%	2,537	

(別紙2) SIPサーバのコスト分計に用いた取得資産価額比等

1. 算定方法

SIPサーバのうち、「専ら光IP電話の提供の用に供するもの」について、特別調査によりコストを特定。

2. 算定結果

	取得資産価額比	接続料原価 (単位:百万円)	備考
a.下記以外の場合	30.20%	15,909	特別調査により特定
b.専ら光IP電話の提供の用に供するもの	69.80%	36,770	特別調査により特定
c.合計	100.00%	52,679	(Ⅱ-1)⑤SIPサーバ ※2024年度第4四半期-2028年度の合計値(2024年度は1の原価を1/4し第4四半期の原価に換算したもの)

(別紙3) 一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能(収容局接続機能)のコスト分計に用いたトラヒック比等

1. 算定方法

「関門系ルータ交換機能」と「一般中継系ルータ交換伝送機能」のコストについて、下記のトラヒック比により各機能に分計。

2. トラヒック比

区分	2024年度第4四半期-2028年度	備考
a.収容局接続機能(1Gbit/sタイプ)	57.59%	収容されるユーザ数に基づき予測
b.収容局接続機能(10Gbit/sタイプ)	42.41%	収容されるユーザ数に基づき予測
c.合計	100.00%	

(別紙4) 光IP電話接続機能(県内NGN)における端末系ルータ交換機能のコスト分計に用いたトラヒック比等

1. 算定方法

「高速制御部の一部」の「SIPサーバと連携して提供する場合」と「端末系ルータ交換機能(2)専らIP電話の提供の用に供するもの」のコストについて、下記のトラヒック比により各機能に分計。

2. トラヒック比

区分	2024年度第4四半期-2028年度	対応するエッジ設備
a.光IP電話接続機能(県内NGN)	67.03%	ゲートウェイルータ(メタルIP電話発着を除く)
b.上記以外 ^{※1} (接続料原価から控除)	32.97%	収容ルータ(当社のひかり電話ユーザ間の通信相当に係るもの・最優先通信/高優先通信、当社のメタルIP電話とひかり電話ユーザ間の通信相当に係るもの)(※2)
c.合計	100.00%	

※1 第一種指定電気通信設備利用部門がコスト総額を負担

※2 収容ルータは、ゲートウェイルータ経由呼と当社のひかり電話ユーザ間および当社のメタルIP電話とひかり電話ユーザ間の通信との通信時間比等を基に算定

(別紙5) QoS制御係数算出の考え方

1. トラフィック増と遅延時間解消に必要な設備量の関係式

(1) クラスkの系内時間 W_k は、ポラチエック=ヒンチンの公式に基づき以下の通り。

$$W_k(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = \frac{\sum_{n=\lambda_n} \rho_n E[X^n]}{2(1-\rho_{n=1})(1-\rho_n)} = 2E[X] \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \rho_n E[X^n]}{(B - \sum_{n<K} \lambda_n E[X]) (B - \sum_{n \leq K} \lambda_n E[X])}$$

(2) 以下の各クラスの遅延時間について、「左側の式=右側の式」となるよう数式を展開・整理することにより、 $\Delta \lambda_n$ と B の関係性(必要設備量)を求める。

【クラス1(W_1)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_1(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta \lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_1}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta \lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n \Delta \lambda_2}{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n (B + \Delta B - \lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{B + \Delta B}{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_3} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_3}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X])} \\ W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_4}{(B + \Delta B)(B + \Delta B - \lambda_1 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_1(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n}{B(B - \lambda_1 E[X])}$$

【クラス2(W_2)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_2(\lambda_1 + \Delta \lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta \lambda_2 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])} \\ W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_2(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])}$$

【クラス3(W_3)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_3(\lambda_1 + \Delta \lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta \lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_2 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_3 E[X])} \\ W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_3(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])}$$

【クラス4(W_4)の遅延時間】

$$\begin{aligned} W_4(\lambda_1 + \Delta \lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_1}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X] - \Delta \lambda_1 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2 + \Delta \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_2}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \Delta \lambda_2 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_2 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3 + \Delta \lambda_3, \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_3}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_3 E[X])} \\ W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4 + \Delta \lambda_4, B + \Delta B) &= C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n + \Delta \lambda_4}{(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_4 E[X])(B + \Delta B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \Delta \lambda_4 E[X])} \end{aligned}$$

$$= W_4(\lambda_1, \lambda_2, \lambda_3, \lambda_4, B) = C_0 \cdot \frac{\sum_{n=\lambda_n} \lambda_n}{(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X])(B - \lambda_1 E[X] - \lambda_2 E[X] - \lambda_3 E[X] - \lambda_4 E[X])}$$

【前提条件】

- クラスの定義
- クラス1: 重優先クラス
- クラス2: 高優先クラス
- クラス3: 優先クラス
- クラス4: ベストエフォート
- クラスkの平均遅延時間: W_k
- パケット長: X
- 設備量(出力帯域): B
- パケット吐出時間: $S = X/B$
- クラスkの帯域利用率: $\rho_k = \lambda_k E[S]$

(別紙6) QoS制御係数の算出

2. クラスnのトラヒック増 $\Delta\lambda_n$ と、クラスkの遅延時間 W_k の増加を解消するために必要な設備量 ΔB のマトリックス(数式)

	クラス4の トラヒックが増加	クラス3の トラヒックが増加	クラス2の トラヒックが増加	クラス1の トラヒックが増加	
クラス1の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_1 + 1}$			$\frac{C_1 + 1/\rho}{C_1 + 1}$	$C_1 = \frac{1}{1 - \rho_1}$
クラス2の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_1 + C_2}$		$\frac{C_2 + 1/\rho}{C_1 + C_2}$	$\frac{C_1 + C_2 + 1/\rho}{C_1 + C_2}$	$C_2 = \frac{1}{1 - \rho_1 - \rho_2}$
クラス3の 必要設備量	$\frac{1/\rho}{C_2 + C_3}$	$\frac{C_3 + 1/\rho}{C_2 + C_3}$	$\frac{C_2 + C_3 + 1/\rho}{C_2 + C_3}$		$C_3 = \frac{1}{1 - \rho_1 - \rho_2 - \rho_3}$
クラス4の 必要設備量	$\frac{C_4 + 1/\rho}{C_3 + C_4}$	$\frac{C_3 + C_4 + 1/\rho}{C_3 + C_4}$			$C_4 = \frac{1}{1 - \rho_1 - \rho_2 - \rho_3 - \rho_4}$

3. Input値の算定

QoSクラス	トラヒックウエイト (2024.4Q-2028)	ρ_n
最優先クラス	0.091%	0.0001827
高優先クラス※	3.303%	0.0066063
優先クラス	0.653%	0.0013053
ベストエフォート	95.953%	0.1919058
合計	100.000%	0.2000000



帯域制御係数	ρ_n (帯域制御係数考慮後)
1.20	0.0002192
1.16	0.0076633
1.00	0.0013053
1.00	0.1919058
	0.2010935

※現行のQoS換算係数の適用範囲に対して、帯域制御係数を加味。

●定数の算出

$C_1 =$	1.0002192
$C_2 =$	1.0079451
$C_3 =$	1.0092730
$C_4 =$	1.2517110

4. クラスnのトラヒック増 $\Delta\lambda_n$ と、クラスkの遅延時間 W_k の増加を解消するために必要な設備量 ΔB のマトリックス(指数)

ネットワーク全体の遅延時間が解消される必要設備量として、最大値を必要設備量のクラスnの指数として採用する。

	クラス4の トラヒックが増加	クラス3の トラヒックが増加	クラス2の トラヒックが増加	クラス1の トラヒックが増加
クラス1の 必要設備量	2.48613			2.98619
クラス2の 必要設備量	2.47630		2.97822	3.47630
クラス3の 必要設備量	2.46518	2.96551	3.46518	
クラス4の 必要設備量	2.75301	3.19940		
上記の内、 最大値	2.75301	3.19940	3.46518	3.47630

5. QoS制御係数の算定結果

ベストエフォート	優先クラス	高優先クラス	最優先クラス
1.000	1.162	1.259	1.263

(別紙7) 帯域制御係数の設定

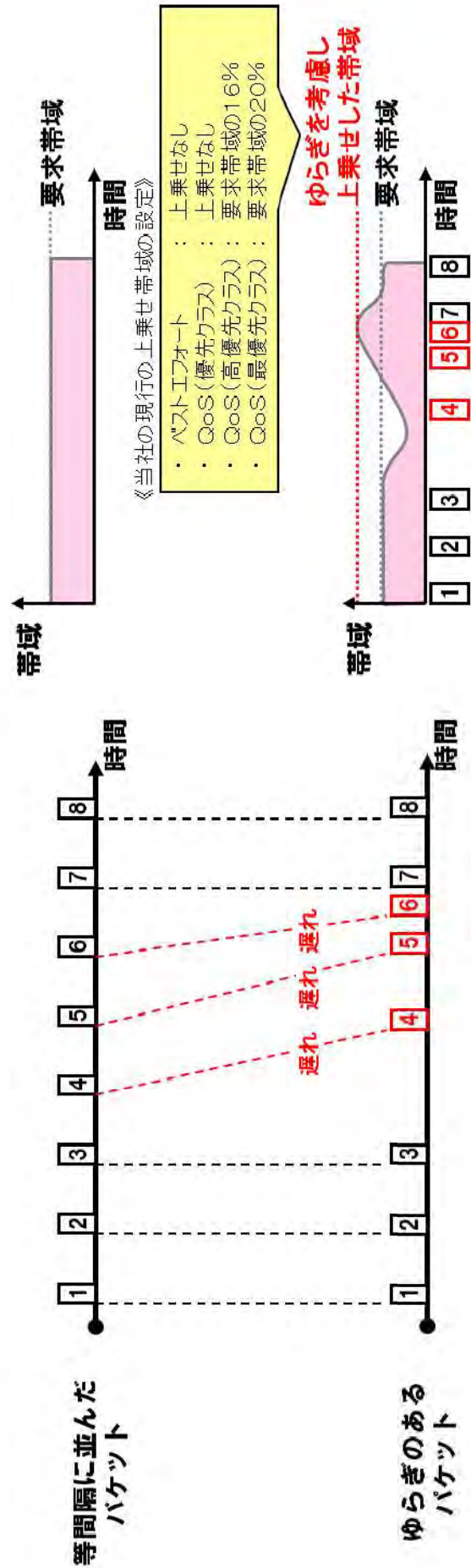
- QoS通信(高優先・最優先クラス)では「ゆらぎ」を吸収するために、通信要求時の帯域に対して帯域を上乗せして管理していることに着目し、QoSの有無・程度に応じたコスト差を設定。
- 具体的には、通信品質に関する法令や国際標準に定められている、遅延等の品質を確保するため、以下のような比率で上乗せ帯域を設定しています。

ベストエフォート・QoS(優先クラス) : QoS(高優先クラス) : QoS(最優先クラス) = 1.00 : 1.16 : 1.20

■ 等間隔に並んで送信されたパケットが、1つの装置で複数通信のパケットを束ねて転送する際に間隔がずれることを「ゆらぎ」といいます。

■ 「ゆらぎ」があると、パケットの間隔が詰まっているところより大きい帯域を使うこととなります。

■ こうした「ゆらぎ」を吸収するために、NGNでは、網管理上、通信要求時の要求帯域に対して上乗せした帯域で管理しており、品質が高いほど上乗せする率を高めています。



(別添1) 収容ルータの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	13,358	13,833	13,683	11,359	7,988	5,482	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
共通費・管理費	1,555	1,610	1,593	1,322	929	637	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
試験研究費	1,638	1,634	1,506	1,114	781	542	前年度値 × (取得固定資産構成比変動率 × (1 + 効率化率))
通信設備使用料	99	106	109	94	69	49	前年度値 × 取得固定資産伸び率
租税公課	396	429	426	350	243	164	前年度値 × 正味固定資産伸び率
減価償却費	3,333	3,816	4,222	4,098	3,578	3,025	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	564	634	1,197	1,788	1,409	1,031	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	25	28	543	1,077	858	682	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
合計	20,943	22,062	22,736	20,125	14,997	10,930	

(別添2) 収容ルータの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	47,820	51,048	52,050	44,534	32,269	22,813	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 除却損
	正味固定資産	10,376	12,529	13,938	13,849	13,497	12,936	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 減価償却費(当年度取得分は半稼働) - 除却損
線路設備	その他	21,631	22,973	23,197	19,486	13,586	9,063	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	3,799	4,035	4,075	3,425	2,389	1,596	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
土木設備	ケーブル	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
その他	取得固定資産	30,075	31,939	32,246	27,079	18,869	12,575	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	6,526	6,931	6,989	5,880	4,101	2,737	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	10,849	11,527	11,647	9,797	6,850	4,589	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	153,329	163,131	165,275	139,722	98,752	67,285	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		31,550	35,022	36,659	32,951	26,837	21,858	

(別添3) 中継ルータの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	472	491	528	563	595	625	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	55	57	61	65	69	72	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	58	60	64	71	79	87	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	4	4	4	4	4	4	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	14	14	15	16	17	18	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	243	255	283	265	229	236	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	16	17	18	19	20	21	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	1	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	861	898	973	1,003	1,013	1,063	

(別添4) 中継ルータの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	1,708	1,831	2,031	2,231	2,431	2,631	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
	正味固定資産	749	692	690	691	725	782	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半稼働)－除却損
線路設備	その他	775	831	922	1,013	1,104	1,195	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	135	145	161	177	193	209	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
土木設備	ケーブル	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
その他	取得固定資産	1,077	1,155	1,281	1,407	1,533	1,659	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	234	251	278	305	332	359	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	1,923	2,061	2,287	2,513	2,739	2,965	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	387	415	461	507	553	599	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		5,483	5,878	6,521	7,164	7,807	8,450	
		1,507	1,503	1,590	1,680	1,803	1,949	

(別添5) SIPサーバーの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	4,258	4,935	6,219	6,704	5,879	4,772	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	646	749	944	1,018	893	725	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	681	822	1,028	1,010	874	739	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	41	49	64	71	64	54	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	165	222	328	372	307	220	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	1,444	1,957	2,958	3,496	3,152	2,600	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	165	196	258	291	264	218	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	8	8	14	20	18	12	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	7,401	8,930	11,799	12,962	11,433	9,328	

(別添6) SIPサーバーの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	18,794	22,458	29,176	32,426	29,317	24,534	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
	正味固定資産	4,332	7,192	12,533	14,546	10,783	6,080	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半移動)－除却損
	その他	9,947	11,886	15,441	17,161	15,516	12,985	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	1,671	1,997	2,594	2,882	2,605	2,180	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	12,366	14,777	19,197	21,335	19,290	16,143	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	2,683	3,206	4,165	4,629	4,185	3,502	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
その他	取得固定資産	22,147	26,465	34,381	38,212	34,549	28,912	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	4,463	5,334	6,929	7,702	6,964	5,827	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	63,254	75,586	98,195	109,134	98,672	82,574	
	正味固定資産	13,150	17,729	26,221	29,759	24,537	17,589	

(別添7) ゲートウェイルータの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	50	27	4	4	4	4	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	8	4	1	1	1	1	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	8	1	1	1	1	1	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	2	1	0	0	0	0	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	13	10	2	2	2	2	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	1	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	82	43	8	8	8	8	

(別添8) ゲートウェイルータの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	233	127	19	20	20	20	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 除却損
	正味固定資産	21	14	9	7	5	3	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 減価償却費 (当年度取得分は半稼働) - 除却損
線路設備	その他	111	61	9	9	9	9	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
	ケーブル	19	11	1	1	1	1	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
その他	取得固定資産	152	83	12	12	12	12	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	33	18	3	3	3	3	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	272	149	22	23	23	23	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	55	31	4	4	4	4	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
		768	420	62	64	64	64	
		128	74	17	15	13	11	

(別添9) 収容ルータ(SNI等)の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	349	363	352	341	331	321	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	41	43	42	41	40	39	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	43	40	38	38	39	39	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	3	3	3	3	3	3	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	10	11	11	11	11	11	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	90	121	119	114	111	107	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	5	4	4	4	4	4	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	540	585	569	552	539	524	

(別添10) 収容ルータ(SNI等)の固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	1,255	1,348	1,348	1,348	1,348	1,348	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
	正味固定資産	420	444	369	296	227	162	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半稼働)－除却損
	その他	553	594	594	594	594	594	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	正味固定資産	97	105	105	105	105	105	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	768	825	825	825	825	825	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	167	179	179	179	179	179	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	1,376	1,478	1,478	1,478	1,478	1,478	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	正味固定資産	278	300	300	300	300	300	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	3,954	4,245	4,245	4,245	4,245	4,245	
	正味固定資産	961	1,028	953	880	811	746	

(別添11) 網終端装置(ISP)の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	6,976	6,291	4,882	4,075	3,952	3,833	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	812	732	568	474	460	446	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	855	668	484	493	507	516	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	52	48	38	33	33	33	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	207	187	144	118	113	110	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	1,831	1,603	1,401	1,174	1,009	909	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	97	972	1,167	65	64	64	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	6	6	6	6	5	5	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	10,830	10,501	8,684	6,432	6,138	5,911	

(別添12) 網終端装置(ISP)の固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	24,827	23,083	18,468	15,891	15,889	15,887	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
	正味固定資産	3,390	2,758	1,788	1,151	821	574	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半稼働)－除却損
	その他	11,612	10,796	8,638	7,433	7,432	7,431	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	正味固定資産	2,040	1,897	1,518	1,307	1,307	1,307	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	16,103	14,972	11,979	10,308	10,307	10,306	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	3,494	3,249	2,600	2,237	2,237	2,237	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	28,733	26,714	21,374	18,391	18,388	18,385	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	正味固定資産	5,798	5,391	4,314	3,712	3,711	3,710	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	81,275	75,565	60,459	52,023	52,016	52,009	
	正味固定資産	14,723	13,295	10,220	8,407	8,076	7,828	

(別添13) 伝送路の設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	1,925	1,825	1,833	1,815	1,793	1,768	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
共通費・管理費	872	828	831	823	814	802	前年度値 × (取得固定資産伸び率 × (1 + 効率化率))
試験研究費	1,542	1,509	1,481	1,540	1,611	1,665	前年度値 × (取得固定資産構成比変動率 × (1 + 効率化率))
通信設備使用料	26	25	26	27	27	27	前年度値 × 取得固定資産伸び率
租税公課	628	580	571	555	539	522	前年度値 × 正味固定資産伸び率
減価償却費	3,969	4,069	3,971	3,777	3,674	3,567	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	266	256	262	267	271	275	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	17	12	11	11	11	11	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値 × 設備別正味固定資産伸び率
合計	9,228	9,092	8,975	8,804	8,729	8,626	

(別添14) 伝送路の固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	64,608	63,339	65,571	66,952	68,188	69,292	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 除却損
	正味固定資産	18,359	14,941	12,664	10,249	7,899	5,588	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 減価償却費 (当年度取得分は半稼働) - 除却損
	その他	32,101	31,431	32,538	33,223	33,836	34,384	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	5,298	5,186	5,368	5,481	5,582	5,672	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	ケーブル	18,420	17,729	18,354	18,742	19,088	19,399	—
	正味固定資産	946	963	951	924	894	859	—
	その他	480	462	478	488	497	505	—
	正味固定資産	112	108	112	114	116	118	—
土木設備	取得固定資産	25,439	24,485	25,348	25,884	26,362	26,791	—
	正味固定資産	3,820	3,677	3,807	3,888	3,960	4,024	—
建物	取得固定資産	40,337	39,126	40,505	41,358	42,121	42,803	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	8,649	8,388	8,684	8,867	9,031	9,177	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
その他	取得固定資産	17,397	17,029	17,629	18,000	18,333	18,630	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	10,353	10,143	10,501	10,722	10,920	11,097	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	198,781	193,601	200,423	204,647	208,425	211,804	
	正味固定資産	47,537	43,406	42,087	40,245	38,402	36,535	

(別添15) セッションボーダコントローラの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	93	99	106	105	162	176	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	4	4	4	4	6	7	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	4	4	4	4	9	6	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	1	1	1	1	2	2	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	48	53	59	60	96	106	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	150	161	174	174	275	297	

(別添16) セッションボーダーコントロールの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	102	112	123	126	201	225	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 除却損
	正味固定資産	64	61	58	46	102	153	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 減価償却費 (当年度取得分は半稼働) - 除却損
線路設備	その他	71	78	86	88	140	156	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
	ケーブル	19	21	23	23	37	41	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
その他	取得固定資産	76	83	91	93	148	165	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	17	19	21	21	33	37	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	763	838	922	944	1,505	1,681	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	185	203	223	229	365	407	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	取得固定資産	1,013	1,111	1,222	1,251	1,994	2,227	
	正味固定資産	285	304	325	319	537	638	

(別添17) ENUMサーバーの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	131	138	147	146	227	247	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	6	6	6	6	9	10	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	6	7	7	7	16	10	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	1	1	1	1	2	2	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	68	75	82	83	134	150	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	1	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	213	227	243	243	388	419	

(別添18) ENUMサーバの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	145	158	174	178	285	320	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 除却損
	正味固定資産	91	86	82	65	145	218	前年度値 + 当年度取得固定資産 - 減価償却費(当年度取得分は半稼働) - 除却損
	その他	101	110	121	124	199	223	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
線路設備	正味固定資産	27	29	32	32	52	59	前年度値 × 装置本体の取得固定資産伸び率
	ケーブル	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	108	118	130	133	213	239	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	23	25	28	29	46	52	前年度値 × 機械設備の取得固定資産伸び率
その他	取得固定資産	1,080	1,176	1,295	1,325	2,124	2,383	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	263	286	314	322	517	580	前年度値 × 機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	1,434	1,562	1,720	1,760	2,821	3,165	
	正味固定資産	404	426	456	448	760	909	

(別添19) IP電話用DNSサーバの設備管理運営費

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
営業費	0	0	0	0	0	0	2023年度と同
施設保全費	33	34	36	35	54	59	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
共通費・管理費	1	1	1	1	2	2	前年度値×(取得固定資産伸び率×(1+効率化率))
試験研究費	1	1	1	1	2	1	前年度値×(取得固定資産構成比変動率×(1+効率化率))
通信設備使用料	0	0	0	0	0	0	前年度値×取得固定資産伸び率
租税公課	0	0	0	0	0	0	前年度値×正味固定資産伸び率
減価償却費	17	18	19	19	31	35	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
固定資産除却費	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
(再)除却損	0	0	0	0	0	0	装置本体及びケーブルは個別に算定 その他は、前年度値×設備別正味固定資産伸び率
合計	54	54	57	56	89	97	

(別添20) IP電話用DNSサーバの固定資産

(単位:百万円)

		2023年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	算定方法
機械設備	装置本体	37	40	44	45	72	81	前年度値＋当年度取得固定資産－除却損
	正味固定資産	23	22	21	16	37	55	前年度値＋当年度取得固定資産－減価償却費(当年度取得分は半稼働)－除却損
線路設備	その他	26	28	31	31	49	55	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
	ケーブル	7	7	7	7	11	13	前年度値×装置本体の取得固定資産伸び率
土木設備	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
建物	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
その他	取得固定資産	0	0	0	0	0	0	—
	正味固定資産	0	0	0	0	0	0	—
合計	取得固定資産	273	295	325	329	523	588	前年度値×機械設備の取得固定資産伸び率
	正味固定資産	66	72	80	81	130	145	前年度値×機械設備及び線路設備の取得固定資産伸び率
合計	取得固定資産	365	393	433	438	697	784	
	正味固定資産	103	107	115	111	189	225	

(参考3)

設備区分別の費用明細表(一般第一種指定設備の内訳)

(参考1) 設備区分別の費用明細表をもとに算定

(単位: 百万円)

設備区分 費用の項目	一般第一種指定設備																
	収容ルータ	中継ルータ	県間中継ルータ	SIPサーバ	セッションポータコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	ゲートウェイルータ	メディアゲートウェイ	収容ルータ(SNI)	網終端装置(VPN)	網終端装置(ISP)	収容イーサネットスイッチ	中継イーサネットスイッチ	ゲートウェイスイッチ	伝送路	音声利用IP通信網設備
営業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(再)貸倒損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設保全費	46,036	472	755	4,258	93	131	33	50	2,315	349	1,856	6,976	9,990	721	11	4,667	0
共通費	2,424	538	30	223	1	2	0	3	121	14	75	281	402	29	0	685	0
管理費	4,672	1,017	57	423	3	4	1	5	230	27	141	531	760	55	1	1,382	0
試験研究費	8,903	1,638	93	681	4	6	1	8	370	43	228	855	1,225	88	1	3,605	0
通信設備使用料	2,546	99	6	41	0	0	0	0	22	3	14	52	74	5	0	2,225	0
租税公課	2,864	396	22	165	1	1	0	2	90	10	55	207	296	21	0	1,581	0
減価償却費	25,106	3,333	294	1,444	48	68	17	13	1,178	90	444	1,831	3,085	273	3	12,741	0
固定資産除却費	1,687	564	12	165	0	1	0	1	41	5	26	97	128	9	0	622	0
(再)除却損	98	25	1	8	0	0	0	0	3	0	2	6	7	1	0	45	0
合計	94,239	20,943	861	7,401	150	213	54	82	4,367	540	2,838	10,830	15,961	1,203	17	27,508	0

(参考4)

設備区分別固定資産明細表(一般第一種指定設備の内訳)

(参考2) 設備区分別固定資産明細表をもとに算定

(単位: 百万円)

設備区分等		資産の項目																	
		一般第一種指定設備	収容ルータ	中継ルータ	県間中継ルータ	SIPサーバ	セッションボイダコントローラ	ENUMサーバ	IP電話用DNSサーバ	ゲートウェイルータ	メディアゲートウェイ	収容ルータ(SNI)	網終端装置(VPN)	網終端装置(ISP)	収容イーサネットスイッチ	中継イーサネットスイッチ	ゲートウェイスイッチ	伝送路	音声利用IP通信網設備
機械設備	公衆電話機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市内機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		取得価額	3,799	5	0	0	2	0	0	0	3,782	0	1	3	4	0	0	0	1
	市外機械設備	減価償却累計額	3,787	4	0	0	2	0	0	0	3,772	0	1	2	3	0	0	0	1
		正味価額	12	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
		取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電信機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電報機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	DDX機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	画像機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取得価額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
OCN機械設備	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝送機械設備	取得価額	317,463	50,800	1,815	2,919	21,071	127	179	46	250	7,871	1,331	7,381	26,456	38,477	2,726	43	155,971	
	減価償却累計額	216,934	40,003	1,051	2,137	16,457	52	74	19	228	2,981	900	6,738	22,834	26,473	1,508	36	95,444	
	正味価額	100,529	10,798	764	782	4,614	75	106	27	23	4,890	431	643	3,622	12,003	1,219	7	60,527	
無線機械設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電力設備	取得価額	109,361	17,450	625	1,022	7,176	44	63	16	88	4,099	446	2,596	9,339	13,169	928	15	52,285	
	減価償却累計額	89,675	14,310	512	838	5,885	36	51	13	72	3,361	366	2,128	7,658	10,799	761	12	42,872	
	正味価額	19,686	3,141	112	184	1,292	8	11	3	16	738	80	467	1,681	2,370	167	3	9,413	
電話番号案内設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総合監視システム	取得価額	4,214	1,196	43	70	492	3	4	1	6	281	31	178	641	903	64	1	300	
	減価償却累計額	3,381	960	34	56	395	2	3	1	5	225	25	143	514	724	51	1	241	
	正味価額	833	236	8	14	97	1	1	0	1	56	6	36	127	179	13	0	59	
空中線設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通信衛星設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
端末設備	取得価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
線路設備	市内線路設備	取得価額	36,855	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36,855	
	市外線路設備	減価償却累計額	34,698	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		正味価額	2,157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
取得価額		7,536	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
土木設備	取得価額	65,319	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	減価償却累計額	55,526	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正味価額	9,793	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
海底線設備	取得価額	4,133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	減価償却累計額	3,779	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正味価額	354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建物	取得価額	184,207	30,075	1,077	1,763	12,366	76	108	28	152	7,069	768	4,479	16,103	22,700	1,598	25	85,818	
	減価償却累計額	144,449	23,550	843	1,381	9,683	60	85	22	119	5,536	602	3,507	12,609	17,775	1,252	20	67,408	
	正味価額	39,758	6,526	234	383	2,683	17	23	6	33	1,534	167	972	3,494	4,925	347	5	18,410	
構築物	取得価額	15,884	2,631	94	154	1,082	7	9	2	13	618	67	391	1,408	1,985	140	2	7,279	
	減価償却累計額	13,171	2,181	78	128	897	6	8	2	11	513	56	325	1,168	1,646	116	2	6,036	
	正味価額	2,713	450	16	26	185	1	2	0	2	106	11	67	240	339	24	0	1,242	
機械及び装置	取得価額	850	214	8	13	88	1	1	0	1	50	5	32	114	161	11	0	151	
	減価償却累計額	761	194	7	11	80	0	1	0	1	46	5	29	104	146	10	0	126	
	正味価額	90	20	1	1	8	0	0	0	0	4	0	3	10	15	1	0	26	
車両及び船舶	取得価額	457	131	5	8	54	0	0	0	1	31	3	19	70	99	7	0	30	
	減価償却累計額	386	111	4	6	45	0	0	0	1	26	3	16	59	83	6	0	25	
	正味価額	71	20	1	1	8	0	0	0	0	5	1	3	11	15	1	0	5	
工具、器具及び備品	取得価額	15,285	3,636	130	213	1,495	9	13	3	18	854	93	541	1,946	2,744	193	3	3,392	
	減価償却累計額	10,098	2,428	87	142	998	6	9	2	12	571	62	361	1,300	1,832	129	2	2,156	
	正味価額	5,187	1,208	43	71	497	3	4	1	6	284	31	180	646	912	64	1	1,236	
リース資産	取得価額	21,334	3,509	125	204	1,446	9	13	3	18	818	90	515	1,869	2,643	187	3	9,884	
	減価償却累計額	2,325	387	14	22	160	1	1	0	2	90	10	56	205	291	21	0	1,063	
	正味価額	19,009	3,121	111	182	1,286	8	11	3	16	728	80	459	1,663	2,352	166	3	8,820	
土地	取得価額	19,622	3,279	117	192	1,348	8	12	3	17	771	84	489	1,756	2,475	174	3	8,894	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	19,622	3,279	117	192	1,348	8	12	3	17	771	84	489	1,756	2,475	174	3	8,894	
建設仮勘定	取得価額	1,474	209	7	12	86	1	1	0	1	49	5	31	112	158	11	0	789	
	減価償却累計額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正味価額	1,474	209	7	12	86	1	1	0	1	49	5	31	112	158	11	0	789	
無形固定資産	取得価額	140,379	40,195	1,437	2,346	16,548	728	1,031	262	203	9,405	1,029	5,939	21,458	30,305	2,140	34	7,319	
	減価償却累計額	130,342	37,653	1,346	2,198	15,503	564	798	263	190	8,808	964	5,561	20,098	28,387	2,005	32	6,033	
	正味価額	10,037	2,542	91	149	1,0													

(参考5)

設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)

(参考3)設備区分別の費用明細表をもとに算定

(単位:百万円)

設備区分等 費用の項目	一般第一種指定設備			
	伝送路	右記以外	県内 N G N	県間 N G N
営業費	0	0	0	0
(再)貸倒損失	0	0	0	0
運用費	0	0	0	0
施設保全費	4,667	2,718	1,925	24
共通費	685	391	290	4
管理費	1,382	793	582	7
試験研究費	3,605	2,043	1,542	20
通信設備使用料	2,225	47	26	2,152
租税公課	1,581	945	628	8
減価償却費	12,741	8,687	3,969	85
固定資産除却費	622	353	266	3
(再)除却損	45	28	17	0
合計	27,508	15,977	9,228	2,303

(参考6)

設備区分別費用明細表(一般第一種指定設備・伝送路の内訳)

(参考4)設備区分別の費用明細表をもとに算定

(単位:百万円)

設備区分等		一般第一種指定設備				
		伝送路	右記以外	県内N G N	県間N G N	
資産の項目						
機械設備	公衆電話機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
	市内機械設備	取得価額	1	0	1	0
		減価償却累計額	1	0	1	0
		正味価額	0	0	0	0
	市外機械設備	取得価額	0	0	0	0
		減価償却累計額	0	0	0	0
		正味価額	0	0	0	0
		取得価額	0	0	0	0
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	155,971	83,103	71,897	971	
	減価償却累計額	95,444	42,274	52,711	459	
	正味価額	60,527	40,829	19,186	512	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	52,285	27,289	24,677	319	
	減価償却累計額	42,872	22,378	20,233	261	
	正味価額	9,413	4,912	4,444	57	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	300	164	134	2	
	減価償却累計額	241	133	107	1	
	正味価額	59	32	27	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	0	0	0	0	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	0	0	0	0	
	取得価額	36,855	22,316	14,362	177	
	減価償却累計額	34,698	21,005	13,527	166	
	正味価額	2,157	1,312	835	10	
	取得価額	7,536	4,568	2,932	36	
	減価償却累計額	7,310	4,431	2,844	35	
	正味価額	226	137	88	1	
	取得価額	65,319	39,567	25,439	313	
	減価償却累計額	55,226	33,642	21,618	266	
	正味価額	9,793	5,926	3,820	47	
	取得価額	4,133	2,507	1,606	20	
	減価償却累計額	3,779	2,290	1,471	18	
	正味価額	354	217	135	2	
	取得価額	85,818	44,961	40,337	520	
	減価償却累計額	67,408	35,312	31,688	408	
	正味価額	18,410	9,650	8,649	111	
	取得価額	7,279	3,818	3,417	44	
	減価償却累計額	6,036	3,164	2,835	37	
	正味価額	1,242	653	582	7	
	取得価額	151	82	68	1	
	減価償却累計額	126	68	57	1	
	正味価額	26	15	11	0	
	取得価額	30	17	13	0	
	減価償却累計額	25	14	11	0	
	正味価額	5	3	2	0	
	取得価額	3,392	1,795	1,577	20	
	減価償却累計額	2,156	1,142	1,001	13	
	正味価額	1,236	653	576	7	
	取得価額	9,884	5,263	4,562	59	
	減価償却累計額	1,063	573	484	6	
	正味価額	8,820	4,689	4,078	53	
	取得価額	8,894	4,658	4,182	54	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	8,894	4,658	4,182	54	
	取得価額	789	429	355	5	
	減価償却累計額	0	0	0	0	
	正味価額	789	429	355	5	
	取得価額	7,319	4,055	3,223	41	
	減価償却累計額	6,033	3,343	2,656	34	
	正味価額	1,285	711	567	7	
	取得価額	445,955	244,595	198,781	2,579	
	減価償却累計額	322,719	169,770	151,244	1,705	
	正味価額	123,236	74,825	47,537	874	